

活動成果報告書

令和3年度（第25回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

若い世代の子宮頸がん検診受診率向上への取り組み
～地域診断を通して～

グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名)

宝塚市 健康推進課

代表者：中山 のぞみ

勤務先：宝塚市役所

所 属：健康福祉部 健康推進課

所在地：〒665-0827

兵庫県宝塚市小浜4-4-1

TEL：0797-86-0056

FAX：0797-83-2421



◇活動方針

平成30年4月に実施した健康たからづか21アンケート調査の結果によると、20歳～69歳までの子宮頸がん検診受診率は34.4%と目標の50%には達しておらず、5大がん検診の内最も低くなっており、対策が必要である。子宮頸がん検診は、罹患率が高い20歳～40歳代への受診勧奨が重要であり、本市においては、妊娠届出や乳幼児健診の場を活用したチラシの配布、ポスター掲示、クーポン券等の個別送付、自治会や企業との連携による受診勧奨を行っている。受診率向上のため、地域診断をもとに、令和2年度に行った新たな取組について報告する。

◇活動内容とその成果

(1) 地域診断

平成30年度の市が実施している子宮頸がん検診受診率のデータを小学校区別・年齢別に抽出した結果、受診率に地域差があり、さらに調べたところ、表1のような特徴が判明した。そこで、受診率が最も低いA小学校区を対象地域とし、受診率向上に取り組んだ。

表1 A小学校区の特徴

・生産年齢人口割合が、市全体と比べて多い。(市全体59.5%、A小学校区62%)
・子育て支援機関として、児童館1か所・保育所2か所ある。
・A小学校区の子宮頸がん検診受診者は、2か所の実施医療機関で受診している傾向がある。
・妊婦の飲酒(市全体で1番)喫煙(市全体で2番)の件数が多い。(妊婦届出より)
・経済面に対して「苦しい」と回答した人が最も多い。(市全体14%、A小学校区31%)
(3歳児健診 アンケートより)

①子宮頸がん検診受診勧奨年齢に近い生産年齢人口割合が多い地域であるため、取組により、受診者数の増加が期待できると考えられる。

活動成果報告書

- ②地域の子育て支援機関を利用している子どもの母親は、20歳～40歳代が多いと考えられる。
- ③近隣の実施医療機関での特定健診等の受診率は、市の平均値より高く、実施場所を周知することで、受診率向上が見込めると考えられる。
- ④飲酒・喫煙している妊婦や、3歳児健診時のアンケート調査より、経済的に困窮している世帯が他の地域より多く、健康づくりに関することへの優先順位は低いと考えられ、健康づくりに関する啓発が必要である。

(2) 工夫点

- ①A小学校区の保育所や児童館のスタッフから利用者の印象を聞いたところ、経済的に余裕がない世帯が多く、正しい健康の知識を持ち、予防行動をとる母親が少なく、育児休暇中の利用者や、多子世帯や就労により、時間的に余裕がない世帯が多い印象であった。
- ②これらの情報を踏まえ、受診勧奨のチラシやポスターには低料金で受診ができ、条件により一部無料であることをアピールした。また検診は簡単で短時間であり、時間的な余裕がなくても受診できることを伝えた。
- ③20歳～40歳代は、子育てで多忙であり、受診を促すためには、ポスター掲示やチラシ配布だけでなく、普段から関わりのある子育て支援機関のスタッフからの直接的な声かけがより効果的であると考え、スタッフへ健康教育を行い、利用者への受診勧奨を依頼した。
- ④受診勧奨対象者が多く集う場を地区踏査し、子育て支援機関以外で若い世代への受診勧奨が可能な関係機関を検討し、協力を依頼した。

(3) 実施内容

保育所・児童館、その他関係機関に対して、次の表2、表3の通り実施した。

表2 保育所・児童館

健康推進課	保育所・児童館のスタッフに対して、がん、地域の現状、現在の取組等について、パワーポイントを使って健康教育を実施し、(約15分)ポスター掲示やチラシ配布など、依頼事項等について説明した。
保育所	ポスター掲示・チラシを配布した。(入所中の160世帯、子育て支援事業利用者に)
児童館	ポスター掲示・チラシを配布した。利用者に直接受診勧奨を行う。(30部)

表3 その他関係機関

・近隣の子宮頸がん検診実施医療機関2か所へ現状報告と受診勧奨ポスター掲示を依頼した。
・学校教育課と連携し、小学5年生・中学2年生にチラシを配布した。
・薬剤師会と連携し、A地区と周辺の調剤薬局へポスター掲示を依頼した。
・児童館の近隣のマンション1か所にポスティングを行った。

(4) 結果

表4の通り、受診者数、受診率、順位の全てが上昇した。年代別受診率は20歳代、40歳代は大幅な変化はなかったが、表5の通り、30歳代は6.9%(H30年度)から15.3%(R2年度)に上昇した。

表4 市実施の子宮頸がん検診受診率

年度	H30	R2
受診者数	60名	87名
受診率	4.2%	7.6%
順位(全24小学校区)	23位	7位

表5 市実施の子宮頸がん検診受診率 年代別

年齢	受診率	
	H30	R2
20～29歳	1.8%	2.2%
30～39歳	6.9%	15.3%
40～49歳	4.5%	6.6%

活動成果報告書

(5) 考察

- ①子育て支援機関や小学校との連携により、子育て世代の30歳代の受診率が向上したと考えられる。
- ②保育所・児童館・実施医療機関へ現状を伝えたことで、同じ目標をもって取り組むことができた。
- ③日ごろより子育て支援機関との連携がとれていたため、スムーズに受診勧奨を依頼することができた。実際に顔を合わせ、繋がりを大切にすることが重要であると感じた。
- ④受診者実績は市が実施している子宮頸がん検診のみであり、職域等で実施したものは含んでいないため、評価の限界がある。

◇今後の計画

①連携先の拡充

- ・子育て支援機関への受診勧奨の依頼は効果的。今後は連携先として幼稚園も追加する。
- ・20歳～40歳代が多く集まる場への受診勧奨は効果があったと思われるため、スーパーマーケット等との連携を検討する。

②ポスター・チラシの作成

- ・子育て支援機関のスタッフから、A小学校区は、正しい健康の知識を持ち、予防行動をとれる母親が少ない印象があるとの情報を得たため、がんによるリスクについても記載する。

③その他

- ・子育て支援機関、医療機関等、A小学校区と地域資源が似ている小学校区でも同様の効果が得られると思われるため、来年度は地域資源が似ているB小学校区での取組も開始していく。
- ・今回と同様の方法で、他の健康課題についても取組を開始していく。

ポスター

①若年に受けてほしいことが一目でわかる

子宮頸がんは若い世代(20歳後半～40歳代)に急増しています。

初期の段階では自覚症状はなく、症状が出たときには進行している場合があります。

費用は1,000円(条件により無料)

詳しくは、ホームページで検索

宝塚市 子宮頸がん検診

発行 宝塚市健康推進課(宝塚市立健康センター) 0797-86-0056

④目をひく写真

⑤文字は最小限3行以内

私、25歳。

②費用のお得感をアピール

費用はたったの1,000円(条件により無料)

⑥スマートフォン世代であるため、詳細はHPへ

チラシ

歳代のあなたに受けてほしい!

～宝塚市子宮頸がん検診～

実施医療機関 ※要予約

大門病院 0797-86-0881	小原ウイメンズクリニック 0797-62-1211
清水産婦人科医院 0797-72-0300	高倉丘花柳病院 0797-80-4103
大原レディースクリニック 0797-76-5210	平野マタニティクリニック 0797-88-1103
	中村産婦人科 0797-88-1103
	レディース&マタニティクリニック ザンタカルス サタカサカ 0797-63-1188
	宝塚市立健康センター(高田橋)分室 0797-86-0056
信永新原レディースクリニック 0798-57-1225	

R2.10現在

詳しくは、ホームページで検索

宝塚市 子宮頸がん検診

健康センターではネット予約受付中! 無料の紙受もあります♪※紙電話予約

宝塚市立健康センター(宝塚市立健康センター) 0797-86-0056

③近隣の医療機関が一目でわかる